

第132回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金					
貸	付	金	前	払	金	未	収	入	金	仮	払	金					
備	品	支	払	手	形	買	掛	金	借	入	金						
前	受	金	未	払	金	仮	受	金	減	価	償	却	費				
売	上	受	取	手	数	料	受	取	利	息	仕	入					
支	払	運	賃	支	払	手	数	料	修	繕	費	支	払	利	息		
手	形	売	却	損	備	品	減	価	償	却	累	計	額	雑	益	雑	損
固	定	資	産	売	却	益	固	定	資	産	売	却	損				

1. 村上商店に対する貸付金 ¥ 400,000 を、半年分の利息とともに、同店振出しの小切手で回収した。なお、利息は年利1%である。
2. 備品(取得原価: ¥ 300,000、残存価額:ゼロ、耐用年数:6年)を4年間使用してきたが、5年目の期首に ¥ 80,000 で売却し、代金は売却先振出しの小切手で受け取った。減価償却費は定額法で計算し、記帳は間接法を用いている。
3. 備品 ¥ 800,000 を購入し、代金の全額を翌々月末に支払うことにした。この購入にともない発生した運搬費 ¥ 20,000 および据付費 ¥ 30,000 は現金で支払った。
4. 高梨商店から掛けで仕入れていた商品のうち、¥ 70,000 が品違いであったため返品した。この分は同店に対する掛け代金より差し引くこととした。
5. 出張中の社員から当座預金口座に振込みがあった ¥ 100,000 はその詳細が不明であったが、本日、得意先小笠原商店からの商品代金の内金であることが判明した。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	現金	402,000	貸付金 受取利息	400,000 2,000
2	備品減価償却累計額 現金 固定資産売却損	200,000 80,000 20,000	備品	300,000
3	備品	850,000	未払金 現金	800,000 50,000
4	買掛金	70,000	仕入	70,000
5	仮受金	100,000	前受金	100,000